



知らないで生きる(sunju)

大田区立大森第七中学校 三年 安河内 睦

あなたは虐待をされた子供がどこへ行くか考えたことはあるだろうか。私は今年の夏休みの宿題で、児童虐待について調べた。私の知らない事ばかりで、胸が痛くなるような現実がそこにはあった。その子たちがどうやって生きていくのか、誰が助けてくれるのか。その生活費はどうしていくのか。私は調べてみることにした。

保護施設は、私が調べただけでも、児童養護施設、乳児院、児童心理治療施設、児童自立支援施設、母子生活支援施設、自立援助ホーム、児童家庭支援センターという七つの施設があった。この施設は、子供以外に赤ちゃん、障害を持った人、心理的、精神的に疲れた大人や経済問題を抱えた人などをケアするためのものだ。そして施設のほとんどが税金で賄われていることを私は知った。私はこの中で最も興味を持った児童養護施設の税についても詳しく調べることにした。

児童養護施設は、ただ建物だけが税金でできているわけではなく、子供たちの食事や着ている服、寝る布団なども税金で賄われている。しかも、様々な体験ができるように各施設で児童の要望を聞き、少人数で映画館や遊園地に行く機会を設けたり、夏休みには年齢ごとに分かれ、動

物園に行ったり川遊びをしたりすることもあるようだ。私はずっと施設だけが税金によって建てられたと思っていたが、それだけでなく、ここで働く人のお給料や子供たちの心に寄り添った体験ができるように税金が使われていた。そうとも知らず私はとても驚いた。勿論、個人からの寄付も一部あるが、ほとんどが税金で賄われている。私が思っていた以上に税金は子供たちの未来を支えるために使われていた事実を知って心が暖かくなった。

私がよく聞く税金のニュースは脱税で起訴された、や、議員が居眠りをして税金泥棒だらけだ。「税金はいらない」や「無駄遣い」「消費税を無くせ」などとてもマイナスの言葉ばかり聞く。だが実際は、どうだろうか？少なくとも私が調べた税金の使い道には、間違いなく子供たちの未来のために使われていて、その子供たちが少しでも過こしやすいよう、色んな人たちが協力し、良い方向に使われている税金がほとんどだった。一部の悪い情報や、偽りの事実だけに惑わされて意見を言うことは間違っていると思う。私が今回調べて知った税金の使い方は児童養護施設のことだけが、私達の身の回りでも税金によって支えられている。私はこれを機に、一つの情報だけに惑わされず、自分で調べた事実、体験したことを信じ、税金に感謝しながら生活していこうと思う。そして、児童養護施設に入所した子供たちのほとんどが、辛い、寂しい経験をしたと思う。だが、これも私の勝手なイメージである。いつか、施設に関わっていた人や、入所していた人と話をする機会があったら、たくさん話してみたい。